

1号機 ガレキ撤去作業時の ガレキ落下防止・緩和対策の進捗状況（FHM支保の設置）

2020/8/27

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. はじめに

- 南側崩落屋根等の撤去に際し、屋根鉄骨・ガレキ等が使用済燃料プール（以下、SFP）等へ落下するリスクを可能な限り低減するため、以下のガレキ落下防止・緩和対策※を実施する。
- この内、③燃料取扱機（以下FHM）支保の設置準備を9月より実施し、設置作業を10月から実施予定。

※ ①SFPゲートカバー（2020年3月設置完了）

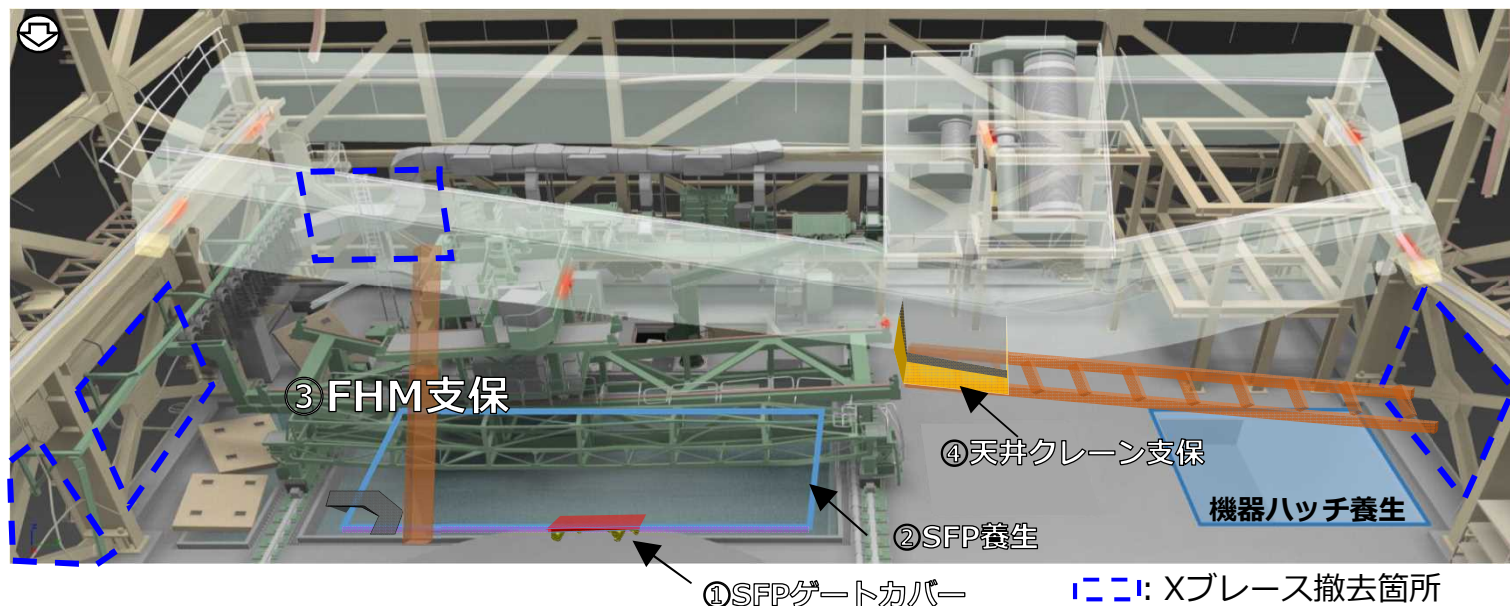
➤ 屋根鉄骨・小ガレキ等がSFPゲート上に落下した際のSFPゲートのずれ・損傷による水位低下リスクを低減

②SFP養生（2020年6月設置完了）

➤ 屋根鉄骨・小ガレキ等がSFPに落下した際に燃料等の健全性に影響を与えるリスク低減

③ FHM支保、④天井クレーン支保

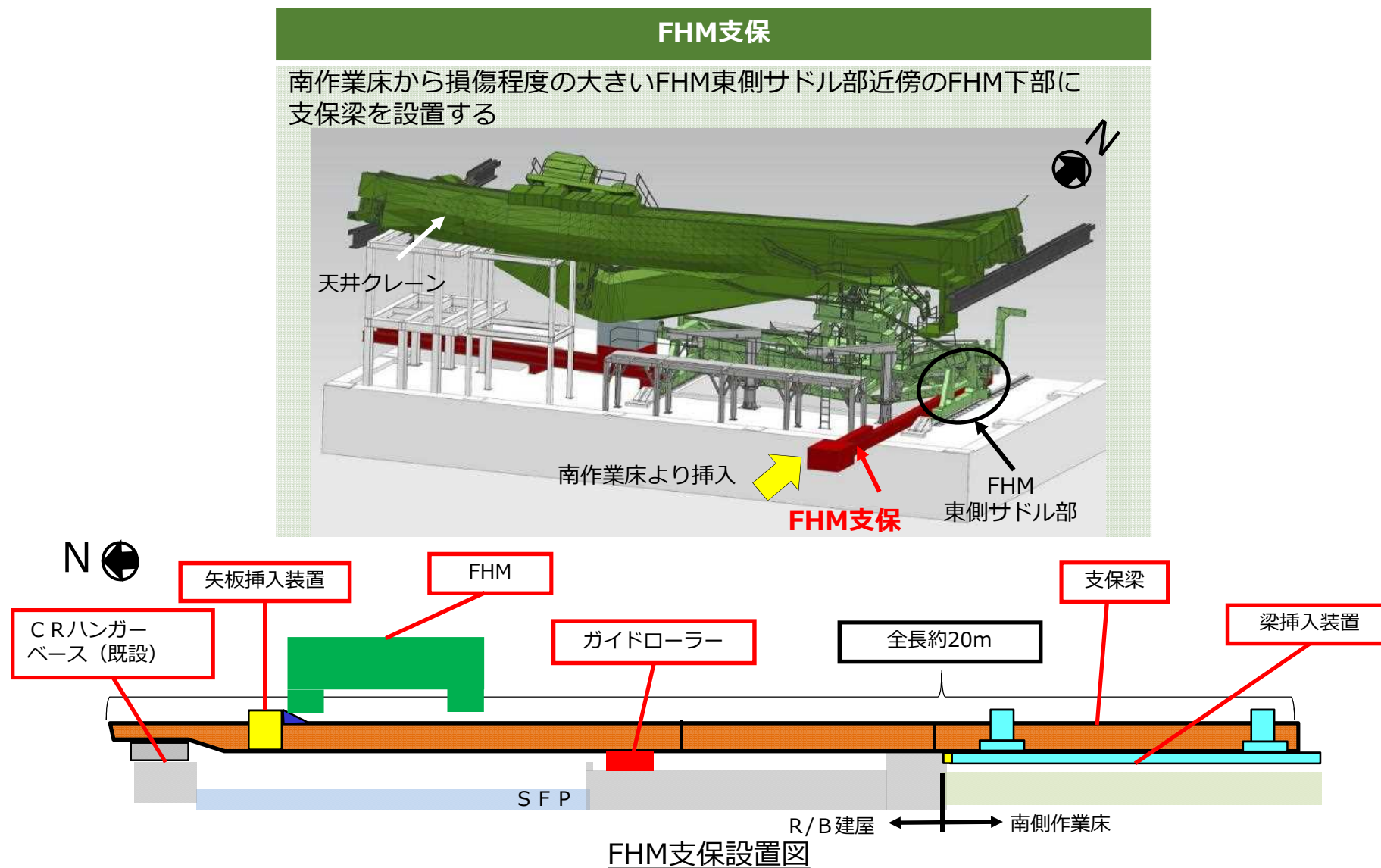
➤ 屋根鉄骨・小ガレキ等撤去により、天井クレーン/FHMの位置ずれや荷重バランスが変動し天井クレーン落下に伴うダスト飛散のリスク及び燃料等の健全性に影響を与えるリスク低減



図：ガレキ落下防止・緩和対策の概要

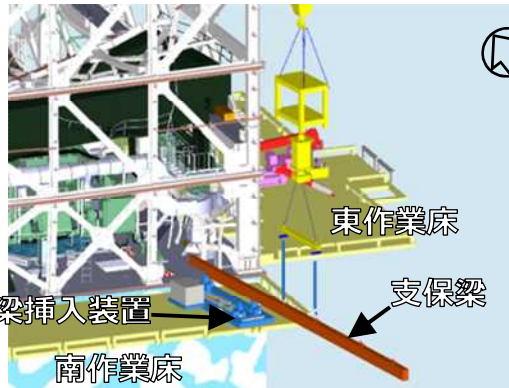
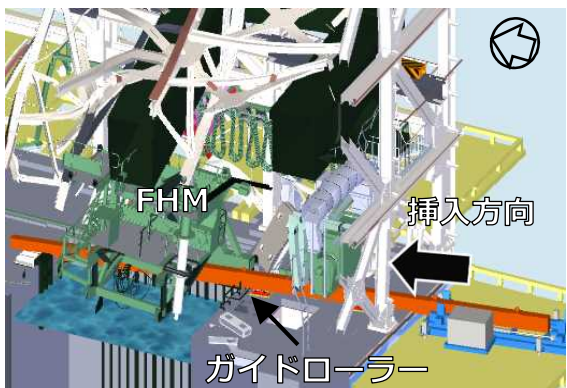
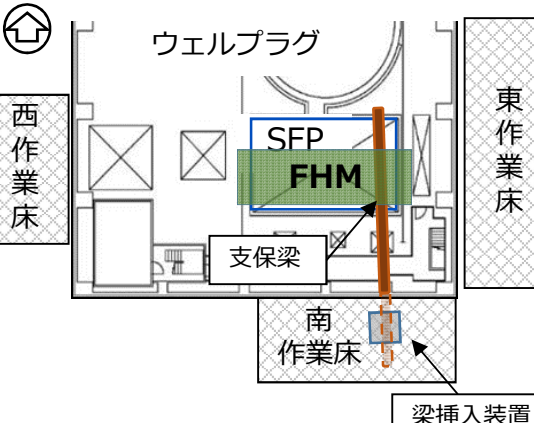
2. FHM支保梁概要

- 天井クレーン・FHM落下対策として、FHMに対してアクセス可能で効果的な位置に支保梁を設置する。



3. FHM支保設置概要

- 南作業床に梁挿入装置及び支保梁を設置し（①）、梁挿入装置及びガイドローラーを用いて支保梁をFHM下部に挿入する（②～③）。その後、作業床上部の支保梁を取り外し、支保梁とFHMの隙間にFHMの北側から矢板を設置して支保梁の固定を行う（④～⑤）。

①支保梁設置	②支保梁挿入	③支保梁挿入（拡大図）
		
④支保梁挿入（完了）	⑤矢板設置・支保梁設置完了	配置イメージ
 支保梁挿入完了後、作業床上部の支保梁を取り外す		

4. 支障ガレキ撤去（西側）の進捗について

- 天井クレーン支保設置に向け、2020年7月6日にSFP周辺西側の支障ガレキ撤去を開始。



ガレキ撤去前(撮影日:2020.7.6)



現在(撮影日:2020.8.21)



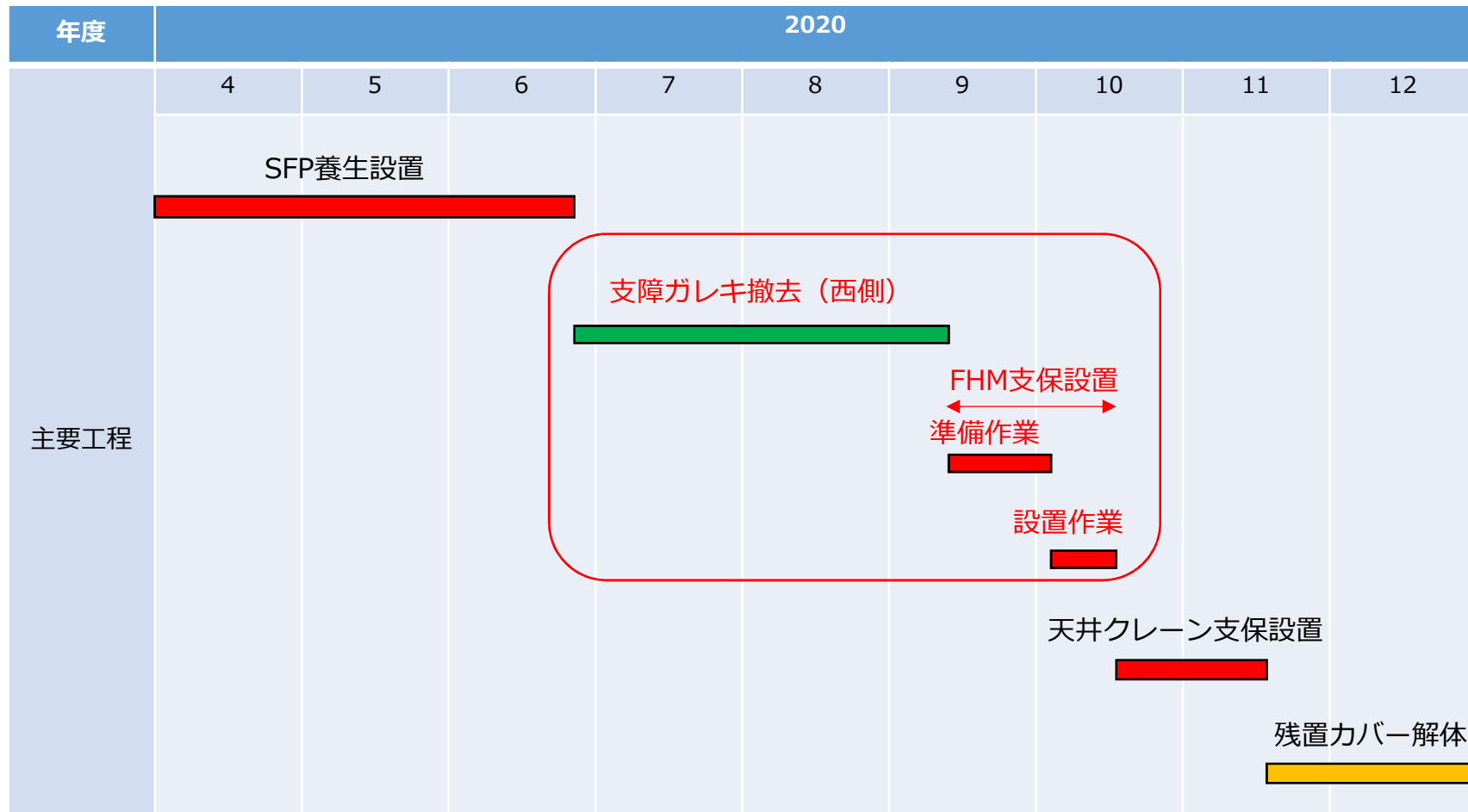
ガレキ撤去作業(撮影日:2020.8.4)



飛散防止剤散布(撮影日:2020.7.21)

5. スケジュール

- 現在、支障ガレキ撤去（西側）を継続しており、FHM支保設置については9月より準備作業を、10月より設置作業を実施予定。
- 実施にあたっては、事前にトレーニングを行い万全な体制を整えた上で、安全最優先に作業を実施する。



※各工程にはトレーニング、準備期間含む。

上記スケジュールは、工事進捗やトレーニング等により変更となる可能性あり。

【参考】FHM支保設置作業トレーニング

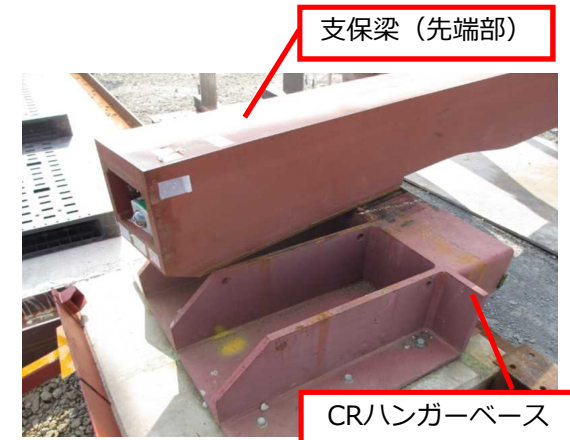
- 支保梁設置作業性試験：支保梁挿入装置を用いて支保梁をFHM下部模擬体の下に挿入(①～③)
- 矢板挿入作業性試験：矢板挿入装置を支保梁に設定し、自走により支保梁とFHMの隙間に設置(④～⑤)



①支保梁挿入装置への支保梁搭載



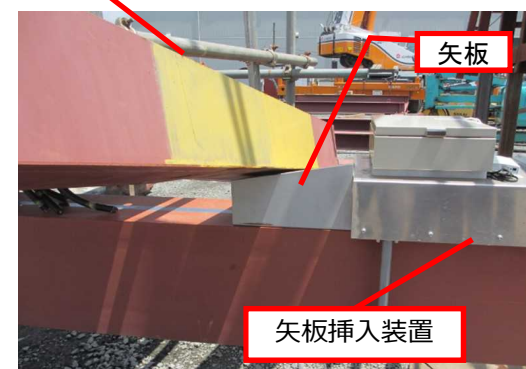
②支保梁挿入



③支保梁挿入（完了）



④矢板挿入装置の支保梁への設定



⑤矢板挿入装置自走，挿入完了